

ふくさき



柳田國男生家



2

2013
(平成25年)
No. 554

責任と誇りを胸に

本人通知制度がスタートします

4月1日から

■本人通知制度とは・・・

住民票の写しや戸籍謄(抄)本などの証明書を、代理人や第三者に交付した場合に、事前に登録した人に対して、証明書を交付した事実を通知する制度です。

この制度により、住民票の写し等の不正請求や不正取得による個人の権利の侵害に対し、抑止力を持たせる効果が期待できます。

福崎町では4月1日から実施します。



□通知の対象となる証明書

- ・住民票の写し(除票を含む)
- ・住民票記載事項証明書(除票記載事項証明書を含む)
- ・戸籍の附票の写し(除附票を含む)
- ・戸籍の謄(抄)本(原戸籍、除籍謄(抄)本を含む)
- ・戸籍記載事項証明

□本人通知の内容(記載事項4項目)

- ・交付年月日
- ・交付した証明書の種別
- ・交付枚数
- ・第三者の種別

申し込み・問い合わせ先

住民生活課 町民窓口係(内線374)

この制度を利用するには事前登録が必要です ～有効期限は登録から3年間～

登録ができる人

- ・福崎町の住民基本台帳に記載されている人(消除者を含む)
- ・福崎町の戸籍の附票に記載されている人(消除者を含む)
- ・福崎町の戸籍に登録されている人(除籍者を含む)

登録受付

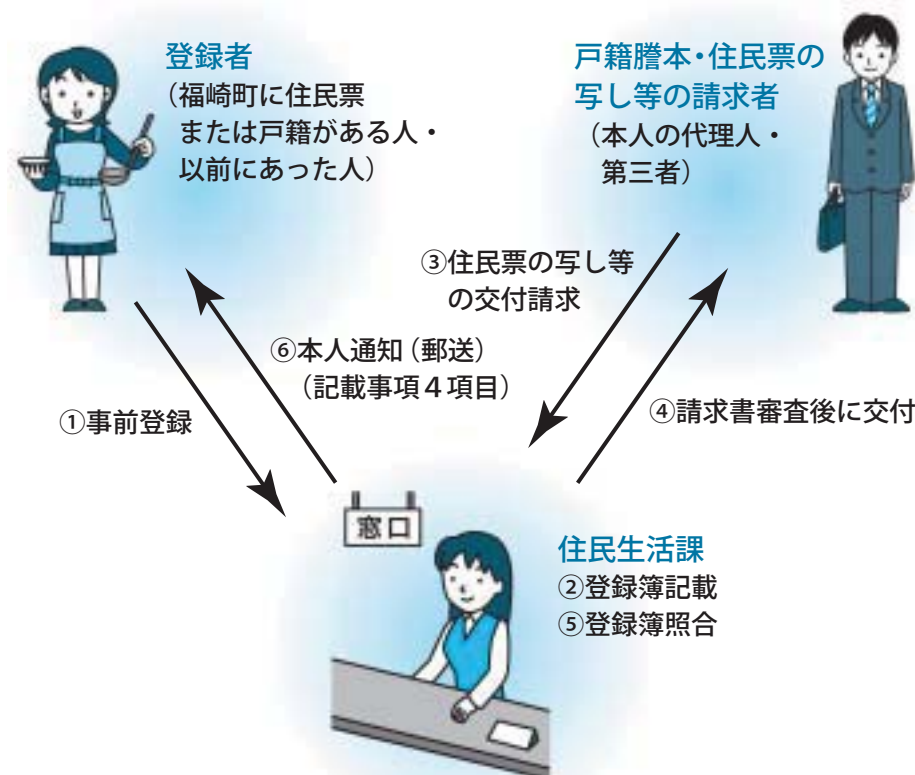
3月1日から受付開始

月～金曜日(閉庁日は除く) 8:30～17:15

登録に必要なもの

- ・事前登録申出書
- ・本人確認書類(運転免許証、パスポート、顔写真付の住民基本台帳カードなど)
- ・代理人による申出の場合は委任状及び代理人の本人確認書類
- ・印鑑

登録後に住所等の変更が生じた場合や登録を廃止する場合は届出が必要です。



住民生活課窓口からのお知らせ

毎週金曜日は午後7時15分まで窓口業務を延長して行っています。

対応業務は、住民票、戸籍、印鑑証明書、所得証明書の交付です。

*住民異動、印鑑登録は除く。



平成25年度 福崎町老人大学 (神崎学園・福寿学園) 入学案内

福崎町老人大学は、生涯学習の一環として、高齢者のみなさんに組織的な学習の場を提供し、共に学び、語り合うことで充実した生きがいのある生活をおくるための基盤を確立するとともに、地域活動の実践者の養成を目的としています。

平成25年度の受講希望者を次のとおり町内外問わず募集します。

受講対象 ・神崎学園…満60歳以上
・福寿学園…満62歳以上
(平成25年3月神崎学園修了者)

開講場所 文化センター

講座内容 専門講座(園芸・書道漢字・書道かな・手芸・舞踊・陶芸・史学・IT)及び一般教養講座

受講料 ・福崎町内の方…無料
・町外の方………2,000円(年間)

※別に学生自治会費1,500円(年間)が必要です。

開講式当日に納入してください。

受付期間 2月21日(木)～3月7日(木)

応募方法 文化センター・教育委員会にある入学願書に記入のうえ、文化センターへ提出してください。
(郵送可)

※詳しくは、2月中旬の町内回覧でお知らせします。

問い合わせ先 文化センター(☎22-3755)

●文化センター行事予定(2/20～3/19)

神崎学園

日時: 2月28日(木) 10:00～12:00 専門講座

福寿学園

日時: 2月21日(木) 10:00～12:00 専門講座

老人大学一般教養講座(公開講座)

日時: 2月28日(木) 13:20～15:00

演題: 「人生を楽しむための心と体の健康法」

講師: 近畿医療福祉大学

臨床福祉心理学科 教授 和泉光保さん

老人大学(神崎学園・福寿学園) 閉講式

日時: 3月7日(木) 10:00～

サルビアセミナー(公開講座)

日時: 3月1日(金) 13:30～15:00

演題: 「笑いの伝染体操」

～一人の元気は皆の元気～

講師: 笑い療法士 福島利華さん

場所: エルデホール メインホール

*上記公開講座は、一般の方も参加できます。

文化センター臨時休館のお知らせ

文化センター(生活科学センター・西部子育て学習センターを含む)は、電気設備工事に伴い、3月5日(火)、臨時休館します。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

宝くじ助成事業により購入しました プロジェクター(スクリーン含む)・ 展示用パネルをご利用ください

イベントや行事で使用するプロジェクター(スクリーン含む)・展示用パネルを平成24年度宝くじ助成を受けて購入しました。

自治会などのコミュニティ活動、各種イベントや行事で活用し、地域コミュニティの活性化を図っていききたいと思います。

申し込み・利用に関する詳しい内容は、文化センター(☎22-3755)へお問い合わせください。



“こころ豊かなふくさき”を願って

“国際食文化交流の会” 会員募集!!

福崎町には、いろいろな目的を持った外国の方がたくさん住んでおられます。その方々がさびしい思いをされないように、また、お互いの文化を理解し合って楽しく過ごしていけるように、交流をはかろうと活動しているのが“国際食文化交流の会”です。
2か月に一度、アメリカ・イギリス・中国・日本などのお国自慢の料理を教え合い、食事やおしゃべりのなかで楽しく交流をしています。

“広げよう ボランティアの輪” 今月のボランティア活動

国や世代をこえたアットホームな会ですので、ぜひご参加ください。



予定(2/20～3/19)をお知らせします。ぜひご参加ください。
みどりのグループ
2月20日(水) 9時～
七種川沿い新町花壇
3月6日(水) 9時～
JA八千種前花壇
3月13日(水) 9時～
七種川沿い新町花壇
ココロクラブ
3月9日(土) 9時～
役場裏集合
街路樹手入れ
問い合わせ先
文化センター
☎22-3755
(コミュニティ推進専門員)

祝 新成人

1月14日、エルデホールで開催された成人式では、160名の新成人と来賓の方々により厳肅な式典と和やかなアトラクションが行われました。

本年は11名の実行委員が、記念品からアトラクションにいたるまで、企画立案等を行いました。

オープニングから、町長式辞、記念品贈呈(新成人代表 鍵野剛志さん)、来賓祝辞と進み、松本絵美さんが二十歳の誓いを述べました。

(社会教育課)

成人式実行委員会

(順不同、敬称略)

委員長 田中 良典
副委員長 鍵野 剛志
委員 藤澤 祐輔
塚本 雅義
松本 絵美
橋本 知佳
吉田 歩未
辻 雅弘
森川 大輝
中井 咲希
上田 美咲



▶祝賀会のようす▶



▲オープニング演奏
「福崎太鼓保存会」



▶選挙管理委員会から記念品贈呈



二十歳の誓い (前略)

私はこの福崎で生を受け、二十年の歳月を過ごしました。父と母の愛の結晶として命をいただき、母親の体内に宿りました。そして、家族のみんなに見守られ、一人の人間としてこの世に誕生し、私の人生がスタートしました。

家族と出会い、友人と出会い、恩師と出会い、私の世界はどんどん広がっていききました。福崎で育った野菜を食し、いろいろな景色やものを見、たくさんの方の考えを聞き、大きく成長することができました。

時には、悩み、苦しみ、我が身が今にも引きちぎられそうなる時期もありましたが、両親やたくさんの仲間を支えられ、今の自分となっています。本当に「ありがとう」の言葉では足りないほど、感謝しきれない思いでいっぱいです。

今日からは支えられるだけでなく、誰かを支える大人になりたいと思います。そのためには、まず自立をしなければなりません。

これから何十年と生きていかなければならない私たちを取り巻く社会は、決して生きやすいとは思えません。不景気や少子化、災害や就職難など、先を明瞭に見据えることが難しい時代になりました。

嶋田町長は、町民の願いは大きく分けて「いのち・くらし・人権」の三つであると思う、とおっしゃっています。

一つ目は、元気で行動し、病気になったときは安心して医者にかかれること二つ目は、働く場所があつて、収入があり、消費する喜びを実感できること三つ目は、社会の中で無視されたり差別されたりすることなく、地域や職場や学校で仲良く集団生活ができること

町民を第一に考えたまちづくりを実施されている福崎町で生まれ育つたことを私は誇りに思います。

私たちは、本日成人式を迎え、社会を担う仲間入りをしました。この誇るべき福崎で育つたということを忘れず、新しい時代を築くことが、私たちの責任であると肝に銘じ、自分の信じる道を歩んでいきたいと思っています。

最後に、二十歳となった私たちがここまで成長できたことに感謝し、成人したことを自覚し、これからの人生を謳歌すると約束します。これをもって二十歳の誓いいたします。

平成二十五年一月十四日

新成人代表 松本絵美





車いす体験をしました

高岡小学校5年
山本玲央

今日、車いす体験をしました。一番大変だったのは、砂利道です。新しくできた郵便局は、コンクリートのところと、砂利のところがあります。砂利のところにはタイヤが入れば本当に大変。おしても引いても、車輪がぐにぐに動くだけで、動かなくなってしまうのです。「ぐおぐ、うおぐ。」とうなつてもいっしょです。全く動く気配がないので、ペアの銀河君に手伝ってもらいました。ぐいっとおしてもらったと、やっと動きました。

次はポストです。いすにすわっていると、背筋をのばしてもうでをのばしても、手紙が入れられせん。必死にがんばってようやく入れることができました。

「ああ、とどかへん。」と言いました。ぼくは何かとどかないのかな、と思つたら、上の方のお金を入れるところに手がとどかなかつたのです。苦しうに上の方にお金を入れていました。

ようやく学校に到着し、だいたいようぶだと思つていたら、今度はスロープです。ななめになつているので少しづつしか進みません。ぼくは後ろからゆくりおしてあげました。のぼるだけならかんたんだけど、車いすをおしながらのぼるのはたいへんなんだなと気づきました。と中で鉄の穴が開いたところに、車輪がはさまつてしまいました。上手によけるといふのも難しいことなんだなと思ひました。

この体験で多くの身の回りは、車いすの人たちやベビーカーをおす人たちにとって、たいへんなところがたくさんあるんだと気づくことができました。小さな段差や穴は小さいけど、車輪を動かすためにはとてもしんどいものでした。後ろからおすのもたいへんだけれど、一人で車いすを動かす方がもっとたいへんだとわかつたのでよかったです。

また、車いすに乗っている人が困っていたら、助けてあげようと思ひました。

ありがとう

田原小学校5年
安江寧々

私は、学校の登校や下校の時ヘルパーさんに出会います。毎日朝早くから立つておられ、いつも笑顔で、「おはよう。」

と言つてくれます。雨が降っている時もかさをさして立つてくれています。後ろから自動車や自転車きたら、

「危ないで。右に寄りよ。」

と声をかけてくれます。私はいつも何も思わないでヘルパーさんの前を通つていたけど、ボランティアの学習をしてから、ヘルパーをしておられる方はすごいなと思ひました。自分のためではなく、他の人たち、私たちのためにしていることだからです。ヘルパーさんたちは、私たちが安全に登下校できるように立つてくださっています。ヘルパーさんがいてくださるから、私たちは交通事故にあわないんだなと思ひました。そう考えるようになってから、私は笑顔で感謝の気持ちを込めて、「おはようございます。」とヘルパーさんに言っています。ボランティアはすごい力を持っていると思います。自分から進んでだれかの役に立つこと。簡単なことではないかもしれませんが、私もだれかの役に立つことをしたいと思ひました。だれかの役に立つて、みんなを笑顔にしたいです。



八千種小学校6年 藤田彩花



福岡小学校6年 尾上佳菜

「ありがとう。」



福岡西中学校1年 井岡理菜

人権標語

きつこうよ みんなちがう
すばらしさ

福岡東中学校3年
姫田実幸

やさしさで みんなの心に
花さかそう!

福岡西中学校1年
橋本七菜

ごめんねと すぐに言える子
すてきな子

福岡小学校5年
森崎志桜里

ひとりじゃない 必ずそばに
だれがいる

田原小学校6年
埴岡瑞希